



【最終報告】

教員志望大学生の不安・悩みを軽減する施策の実施とその効果の検証

一般社団法人manaco 代表理事
中野柊一郎

一般社団法人manaco共同代表

中野 栄一郎

Shuichiro Nakano

1998年10月 宮城県仙台市出身

2013年04月 東北学院高校 入学

2016年04月 宮城教育大学中等教育社会科専攻 入学

2020年05月 大学4年次に大学の同級生とmanacoを設立

2020年11月 「仙台若者アワード2020」優秀賞受賞

2023年12月 manaco法人化(非営利型一般社団法人)



目次

index

01 団体概要

02 令和6年度事業の実施内容

03 令和6年度事業の実施状況

目次

index

01 団体概要

02 令和6年度事業の実施内容

03 令和6年度事業の実施状況

対 象

宮城県内の概ね6～18歳

(学校に行きたくない/行けない、勉強が苦手、進路や将来に悩みがある、人と話したい、やりたいことを手伝ってほしい、なんとなく不安など)

対 象

宮城県内の概ね6～18歳

(学校に行きたくない/行けない、勉強が苦手、進路や将来に悩みがある、人と話したい、やりたいことを手伝ってほしい、なんとなく不安など)

Vision

宮城のこどもたちが明日に希望をもてる社会に。

対象

宮城県内の概ね6~18歳

(学校に行きたくない/行けない、勉強が苦手、進路や将来に悩みがある、人と話したい、やりたいことを手伝ってほしい、なんとなく不安など)

Vision

宮城のこどもたちが明日に希望をもてる社会に。

01 オンラインの1対1の活動



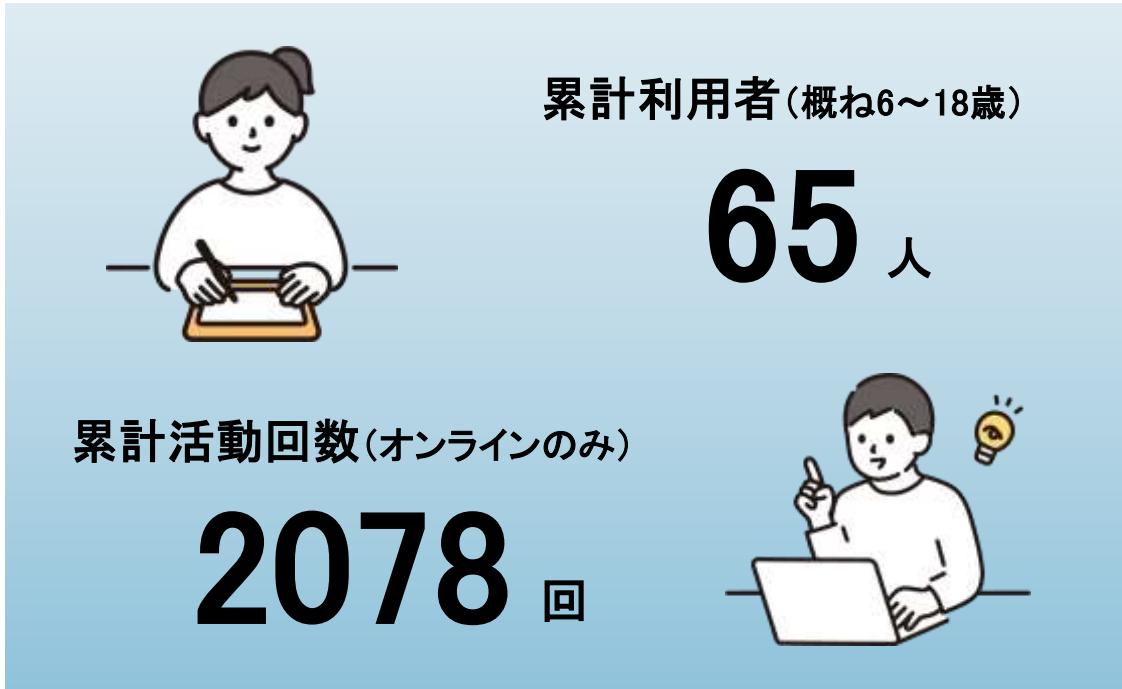
02 様々な体験企画



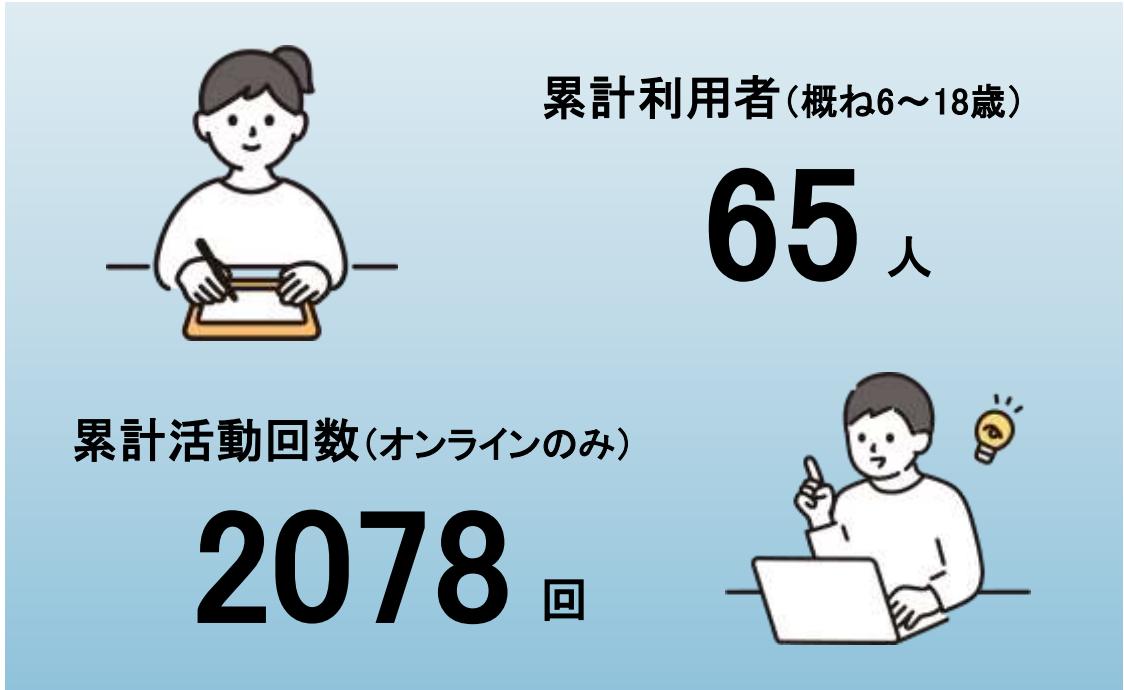
03 教員志望学生向けの活動



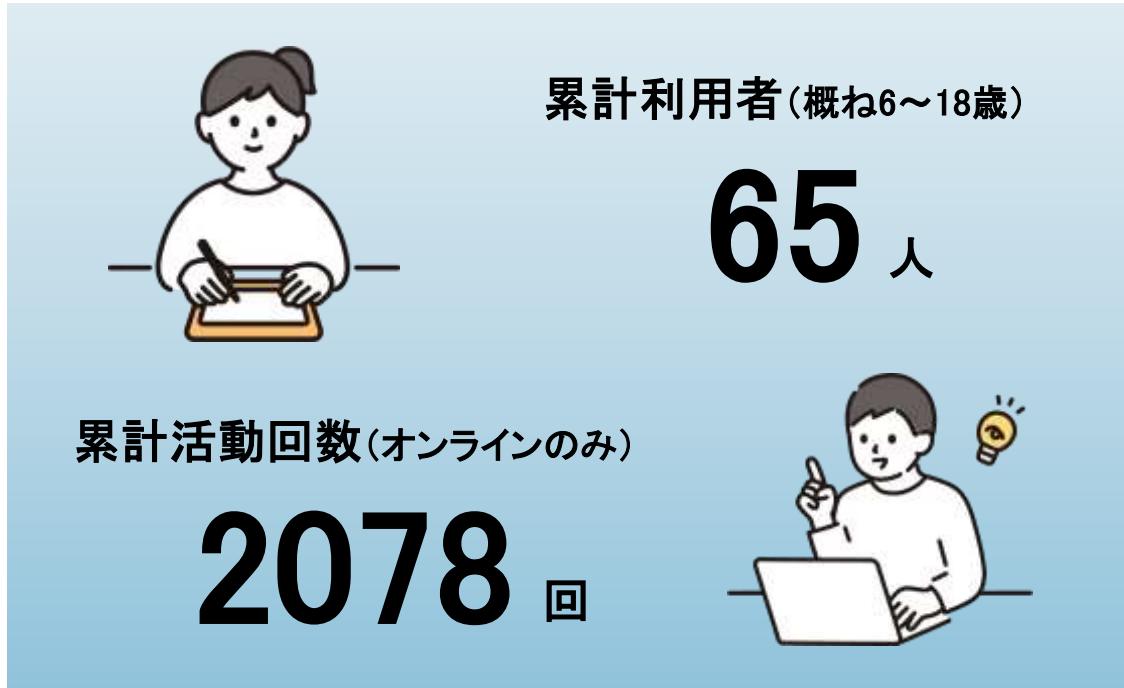
これまでの実績



これまでの実績



これまでの実績



目次

index

01 団体概要

02 令和6年度事業の実施内容

03 令和6年度事業の実施状況

教員志望大学生の不安・悩みを軽減する施策の実施とその効果の検証

教員志望大学生の不安・悩みを軽減する施策の実施とその効果の検証

100人以上の教員志望の大学生と1000回以上の対話



多くの大学生が悩みや不安を抱えている。



Problem

社会の課題

公立小・中学校の退職者数/受験者数

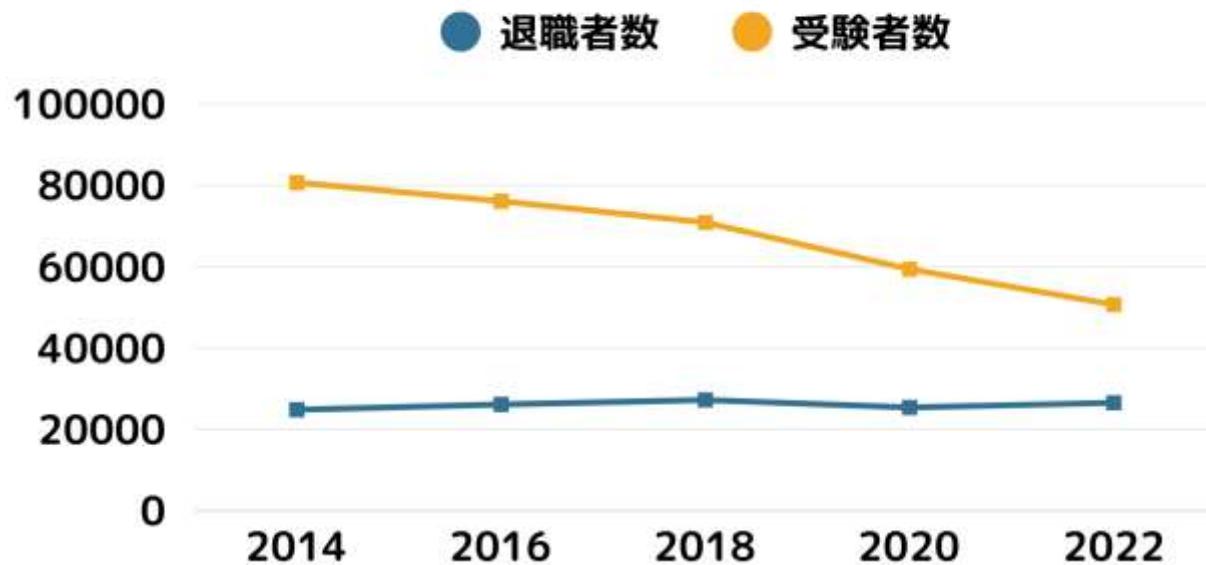


「中央教育審議会「令和の日本型学校教育」を担う教師の在り方特別部会 中間まとめ 概要」を基に作成
https://www.mext.go.jp/content/20221005-mxt_kyoikujinzai01-000025352_2.pdf

Problem

社会の課題

公立小・中学校の退職者数/受験者数

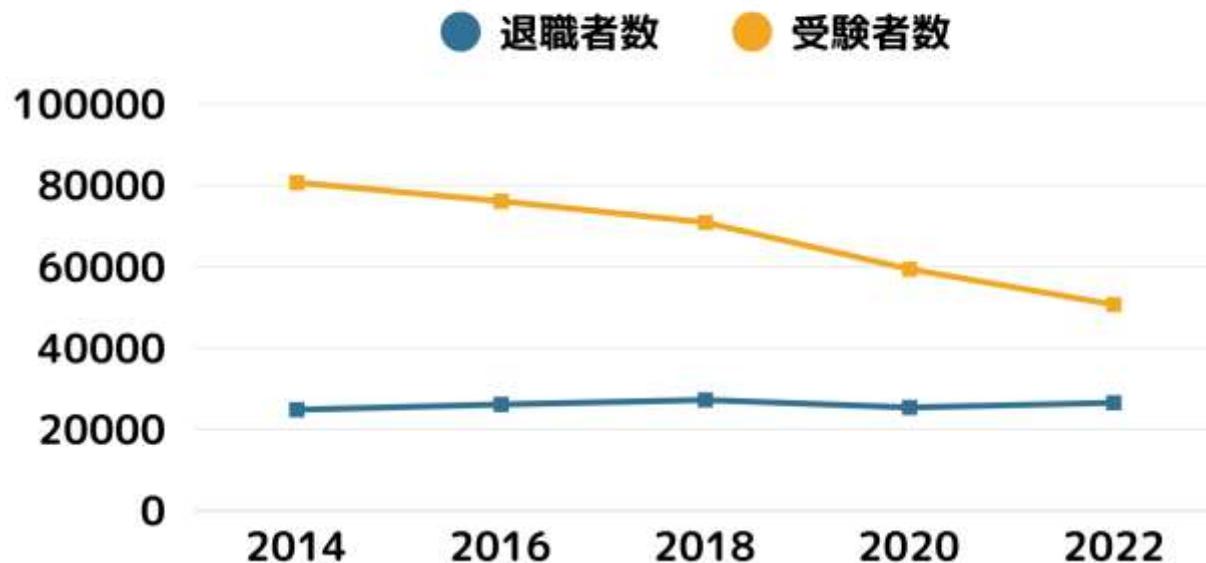


「中央教育審議会「令和の日本型学校教育」を担う教師の在り方特別部会 中間まとめ 概要」を基に作成
https://www.mext.go.jp/content/20221005-mxt_kyoikujinzai01-000025352_2.pdf

Problem

社会の課題

公立小・中学校の退職者数/受験者数



なり手の不足

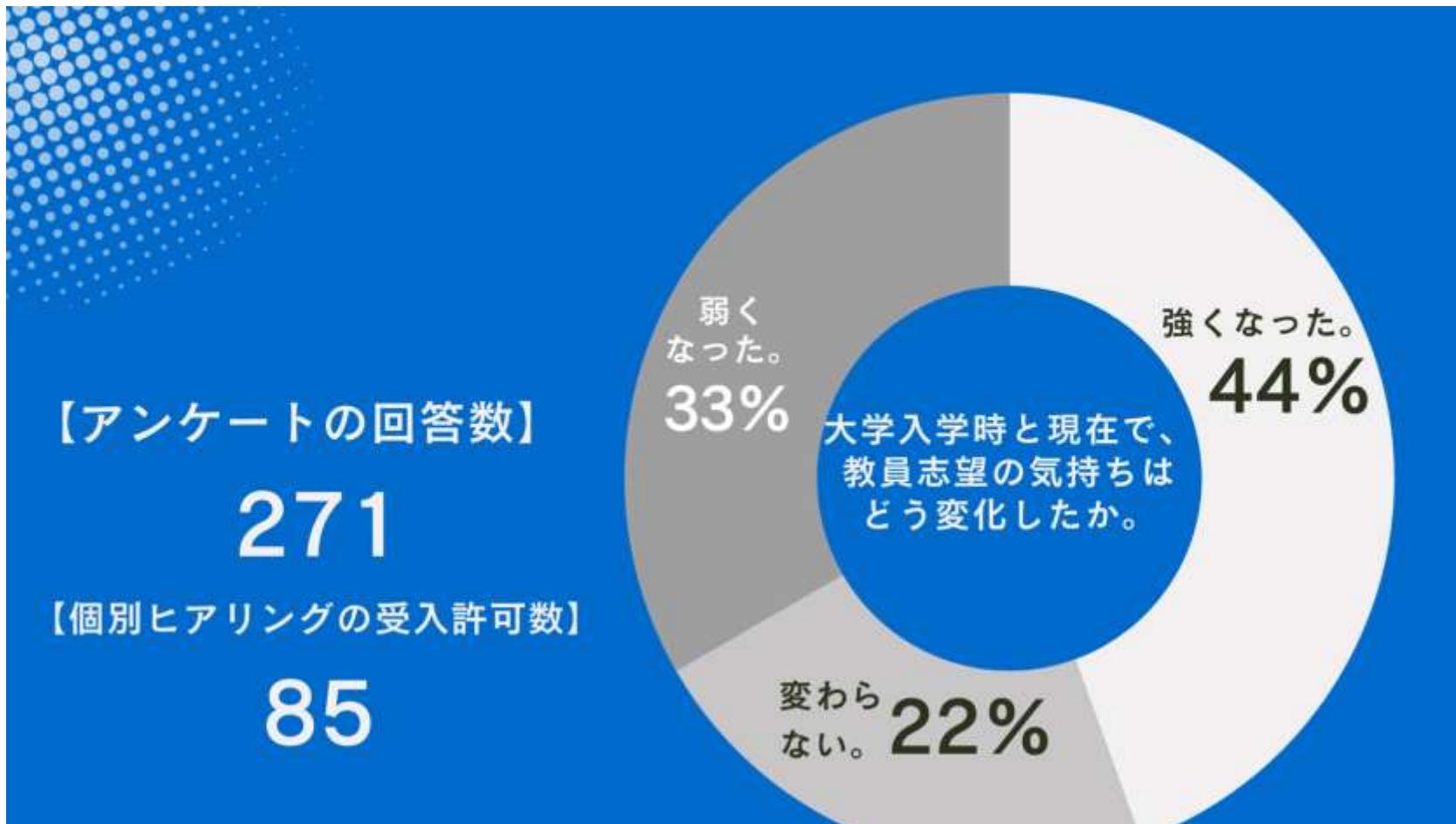
3年間の動き

令和
4

対象者の調査

(令和4年度「仙台市ユースチャレンジ！コラボプロジェクト」)

大学生にアンケートの実施



令和
4

対象者の調査

(令和4年度「仙台市ユースチャレンジ！コラボプロジェクト」)

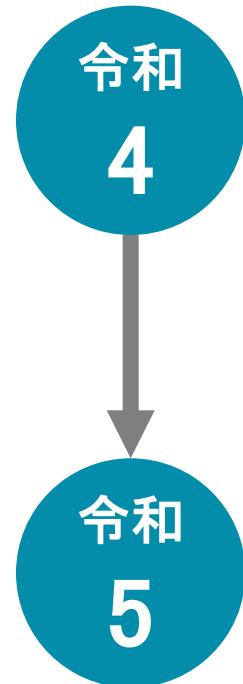
令和
4

対象者の調査

(令和4年度「仙台市ユースチャレンジ！コラボプロジェクト」)

大学生自身の成功体験の必要性

3年間の動き



対象者の調査

(令和4年度「仙台市ユースチャレンジ！コラボプロジェクト」)

大学生自身の成功体験の必要性

調査も基にした施策の実施

(令和5年度「仙台市ユースチャレンジ！コラボプロジェクト」)

現職教員との交流会の実施



教員を志望する大学生
13名が参加

仙台市教育委員会教職員課から
現職教員4名の派遣



3年間の動き(R5)

大学生のプロジェクト伴走

＼英語教員になりたい学生の学びの場／

東北わかもの英語教師学びの会



参加費無料！

2024年 3月 17日 (日) 13:30-17:00
In 東北大学川内キャンパス

定員 20名 (先着順)

対象 英語教員を志望する、英語の授業を上手くなりたい大学生・大学院生

持ち物 筆記用具・PC

内容

- ・自己紹介/アイスブレイク
- ・4名の大学生発表 (異なる大学の大学生で調整中)
- ・2年目国際課英語教員による模擬授業
- ・英語教員10年目の先輩からのゲストスピーチ

会場：佐々木一郎（岩手大学大学院）E-mail: g0222003@iwate-u.ac.jp
協力：一般社団法人manaco「UAN（イージャン）プログラム」



教壇への第一歩

現職の先生と授業を作つてみませんか？



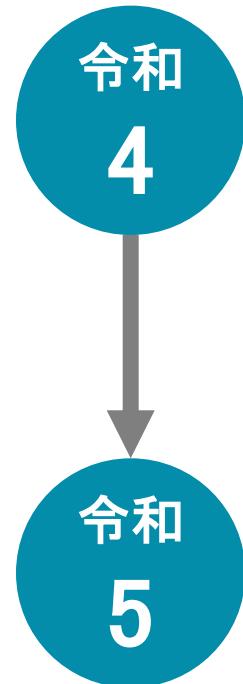
■期間：2024年3月中旬～5月中旬
■対象：教員を目指す宮城県の大学生
■選考方法：先着順（小中高各1名ずつ、教科は問わない）
■プログラム内容

- ・運営との月1回の進捗共有ミーティングの実施
- ・発表者のみで実施するブレ実践会の実施（4月下旬を予定）
- ・イベント後の振り返りミーティングの実施（5月中旬を予定）

■連絡先：manacoの公式SNSのダイレクトメッセージ
■主催：一般社団法人manaco 企画「伝えたい！！」運営



3年間の動き



対象者の調査

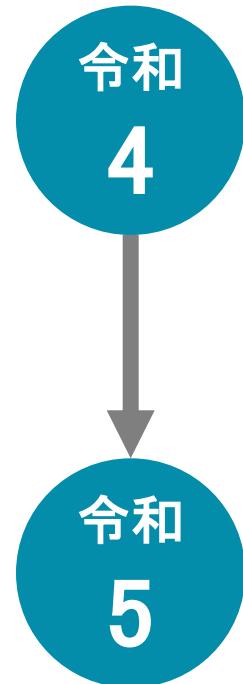
(令和4年度「仙台市ユースチャレンジ！コラボプロジェクト」)

大学生自身の成功体験の必要性

調査も基にした施策の実施

(令和5年度「仙台市ユースチャレンジ！コラボプロジェクト」)

3年間の動き



対象者の調査

(令和4年度「仙台市ユースチャレンジ！コラボプロジェクト」)

大学生自身の成功体験の必要性

調査も基にした施策の実施

(令和5年度「仙台市ユースチャレンジ！コラボプロジェクト」)

より実践的な大学生自身の成功体験の必要性

3年間の動き



対象者の調査

(令和4年度「仙台市ユースチャレンジ！コラボプロジェクト」)

大学生自身の成功体験の必要性

調査も基にした施策の実施

(令和5年度「仙台市ユースチャレンジ！コラボプロジェクト」)

より実践的な大学生自身の成功体験の必要性

更なる施策の検討/実施と検証

(令和6年度「地域づくりパートナープロジェクト推進助成事業」)

Purpose

目的

教員志望の大学生にとって、
教員になるにあたっての不安や悩みを軽減するような
複数の施策を実施・検証し、
どの程度の効果があるのか、より効果の高い施策は何なのかを
測定・分析する。

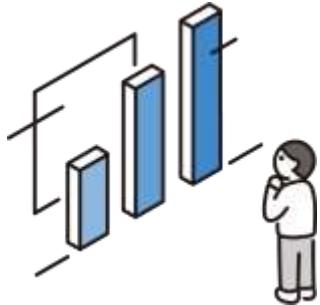
Goal

目標

- 教員志望の大学生約5～10名に
継続的(3か月)な施策を複数(2～3個)の施策を実施する。
- 施策を実施することを通して、
実施前よりも、教員を目指すうえでの悩み・不安が減少する、
もしくは、教員を目指す気持ちが向上する。(アンケートでの測定)

Contents

事業内容



施策の検討

- ・大学生へのヒアリング
- ・現職教員へのヒアリング
- ・専門家へのヒアリング 等



施策の実施

- ・現職教員との交流会
- ・不安や悩み等の
解決につながるイベント
- ・探究伴走プログラム 等



施策の評価

- ・参加者へのアンケート
- ・アンケートの分析 等

Member

実施体制

氏名	団体における役職等	この事業における役割
中野 栄一郎	代表理事	総括、事業責任者
岡崎 悠太	理事	会計管理、アンケートの分析まとめ
	大学生ボランティア	プログラム・参加者のサポート
青木 栄一様 (東北大学大学院教育学研究科・教授)	アドバイザー	プログラムへのアドバイス・フィードバック、分析



目次

index

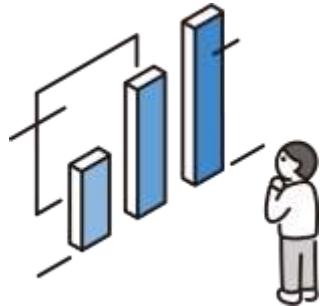
01 団体概要

02 令和6年度事業の実施内容

03 令和6年度事業の実施状況

Contents

事業内容



施策の検討

- ・大学生へのヒアリング
- ・現職教員へのヒアリング
- ・専門家へのヒアリング 等



施策の実施

- ・現職教員との交流会
- ・不安や悩み等の
解決につながるイベント
- ・探究伴走プログラム 等

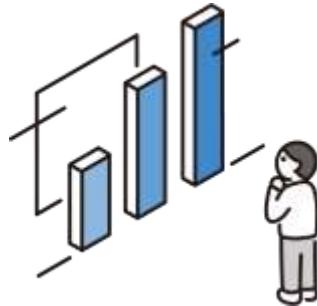


施策の評価

- ・参加者へのアンケート
- ・アンケートの分析 等

Contents

事業内容



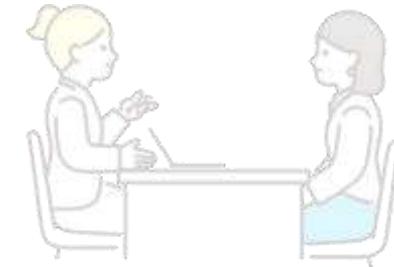
施策の検討

- ・大学生へのヒアリング
- ・現職教員へのヒアリング
- ・専門家へのヒアリング 等



施策の実施

- ・現職教員との交流会
- ・不安や悩み等の
解決につながるイベント
- ・探究伴走プログラム 等

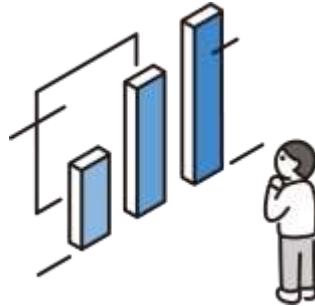


施策の評価

- ・参加者へのアンケート
- ・アンケートの分析 等

Contents

事業内容



施策の検討

■大学生へのヒアリング

- ・学校で働くことのリアルな声や大学時代に思っていた教員の仕事とのギャップなどを知りたい。
- ・現場を経験しているゲストはすごく貴重。
初任研や大学生のうちにやっておいた方がいいことを知りたい。

■現職教員へのヒアリング

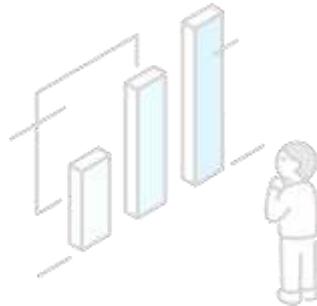
- ・大学生の期間にしか体験できないことに取り組むことを薦めたい。
- ・こどもとかかわる上での軸を明確にできると良いと思う。

■専門家へのヒアリングの実施

- ・大学で勉強した内容を復習する機会や現職の教員から学ぶ機会をつくり、より現場感のあるインプットと実践が必要。

Contents

事業内容



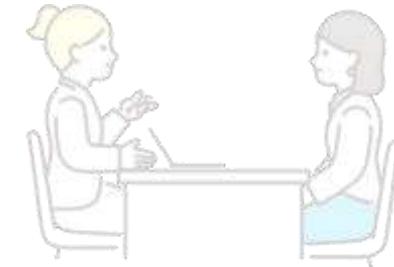
施策の検討

- ・大学生へのヒアリング
- ・現職教員へのヒアリング
- ・専門家へのヒアリング 等



施策の実施

- ・現職教員との交流会
- ・不安や悩み等の
解決につながるイベント
- ・探究伴走プログラム 等



施策の評価

- ・参加者へのアンケート
- ・アンケートの分析 等

ゼロ任研

教員を志望する大学生が
教員になる前に不安や悩みを減らすための

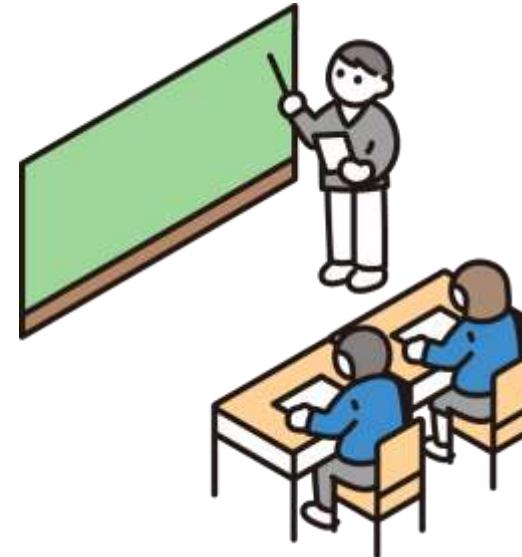


—授業編—

現職教員や教員を志望する仲間からの
フィードバック



より多くの実践の機会



教員志望の大学生の不安・悩みを軽減する施策の概要

01

授業づくり作戦会議①
(参加者/現職教員/運営)



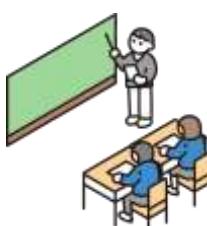
02

授業づくり作戦会議②
(参加者/運営)



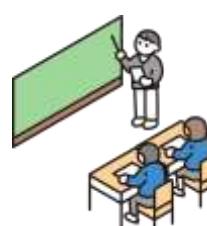
03

授業実践①
(少人数:参加者/現職教員/運営)



04

授業実践②
(大人数:参加者/現職教員/運営)



05

授業づくりの個別相談
(参加者/運営)



教員志望の大学生の不安・悩みを軽減する施策の概要

01

授業づくり作戦会議①
(参加者/現職教員/運営)



02

授業づくり作戦会議②
(参加者/運営)



教員志望の大学生の不安・悩みを軽減する施策の概要

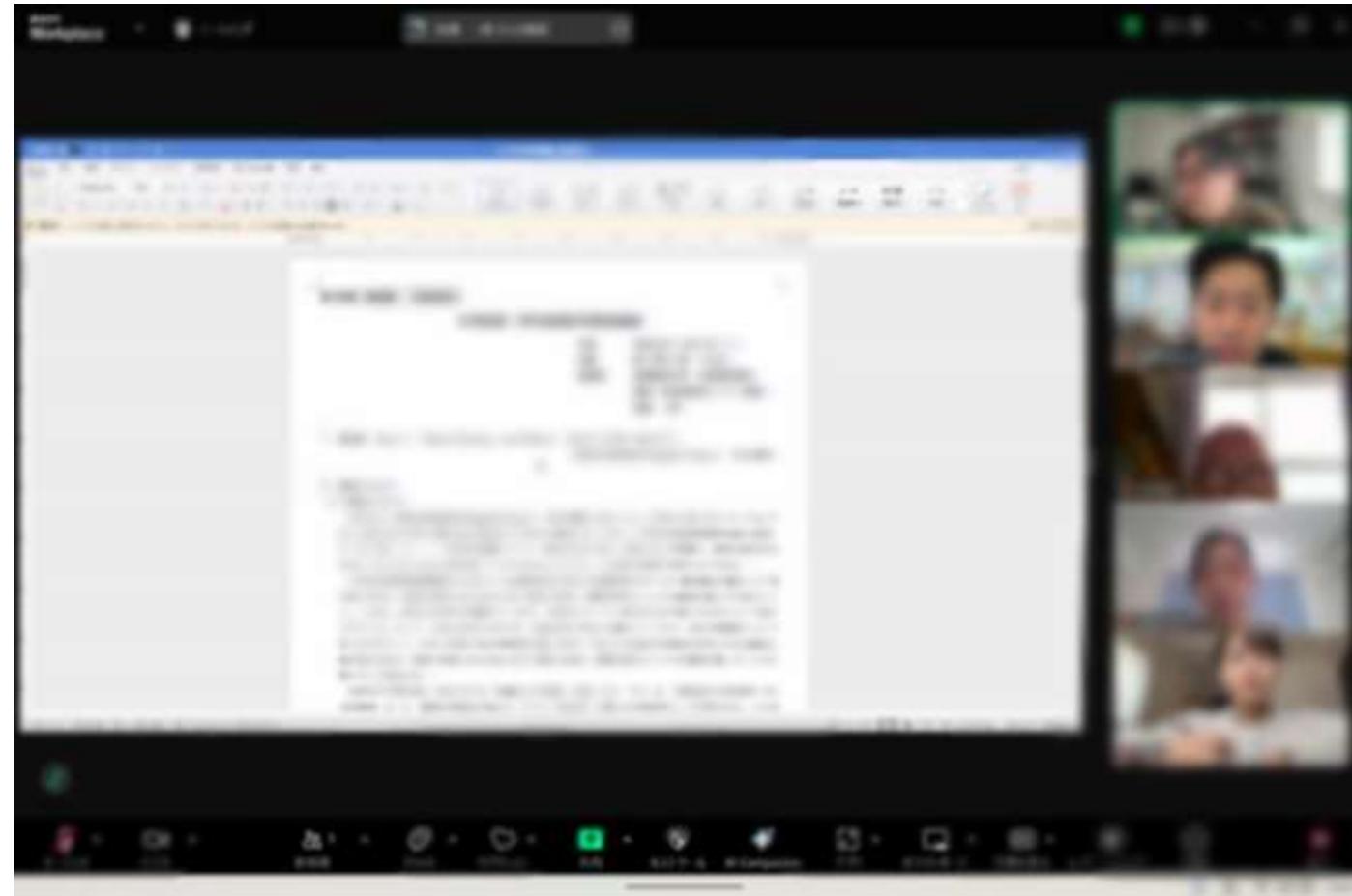
01

授業づくり作戦会議①
(参加者/現職教員/運営)



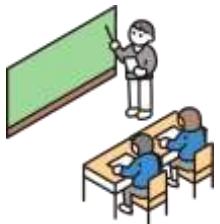
02

授業づくり作戦会議②
(参加者/運営)



教員志望の大学生の不安・悩みを軽減する施策の概要

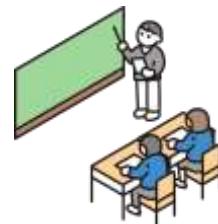
03



授業実践①

(少人数:参加者/現職教員/運営)

04



授業実践②

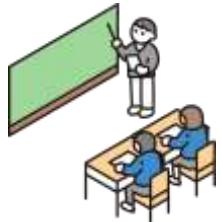
(大人数:参加者/現職教員/運営)

教員志望の大学生の不安・悩みを軽減する施策の概要

03

授業実践①

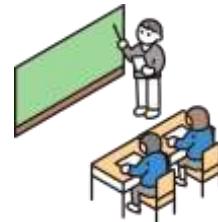
(少人数:参加者/現職教員/運営)



04

授業実践②

(大人数:参加者/現職教員/運営)



教員志望の大学生の不安・悩みを軽減する施策の概要

01

授業づくり作戦会議①
(参加者/現職教員/運営)



02

授業づくり作戦会議②
(参加者/運営)



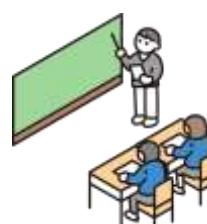
03

授業実践①
(少人数:参加者/現職教員/運営)



04

授業実践②
(大人数:参加者/現職教員/運営)



05

授業づくりの個別相談
(参加者/運営)



教員志望の大学生の不安・悩みを軽減する施策の概要

01

授業づくり作戦会議①
(参加者/現職教員/運営)



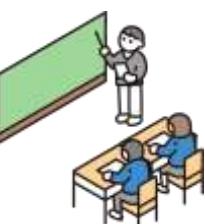
02

授業づくり作戦会議②
(参加者/運営)



03

授業実践①
(少人数:参加者/現職教員/運営)



04

授業実践②
(大人数:参加者/現職教員/運営)



05

授業づくりの個別相談
(参加者/運営)



授業づくり作戦会議①

2週間

授業づくり作戦会議②

1週間

授業実践①

1週間

授業づくり作戦会議①

2週間

授業づくり作戦会議②

1週間

授業実践①

1週間

授業づくり作戦会議①

2週間

授業づくり作戦会議②

1週間

授業実践②

授業づくりの個別相談

3ヶ月

教員志望の大学生の不安・悩みを軽減する施策の概要

01

授業づくり作戦会議①
(参加者/現職教員/運営)



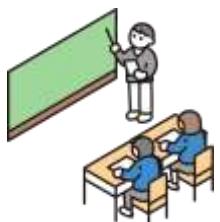
02

授業づくり作戦会議②
(参加者/運営)



03

授業実践①
(少人数:参加者/現職教員/運営)



04

授業実践②
(大人数:参加者/現職教員/運営)



01 授業づくり作戦会議

- ・12/8(大学生3人、教員1名)@オンライン
- ・1/29(大学生4人、教員1名)@オンライン

02 学生同士の授業づくりフィードバック

- ・12/1(大学生3人)@オンライン
- ・1/27(大学生3人)@オンライン
- ・3/11(大学生2人)@オンライン
- ・3/14(大学生2人)@オンライン

03 授業実践(少人数)

- ・1/4(大学生4人、教員1名)@仙台市市民活動サポートセンター
- ・2/9(大学生4人、教員1名)@仙台市民会館

04 授業実践(大人数)

- ・3/22(大学生4人、現職教員3名、一般参加者7名)@仙台市生涯学習センター
- ※一般参加者:プログラムに参加していない単発の大学生、社会人

—授業以外編—

教員志望の大学生の不安・悩みを軽減する施策

保護者対応



学級経営



こどもとの関わり



教員志望の大学生の不安・悩みを軽減する施策

01

現職教員の経験をもとにした
対応方法等のインプット

(参加者/現職教員/運営)



02

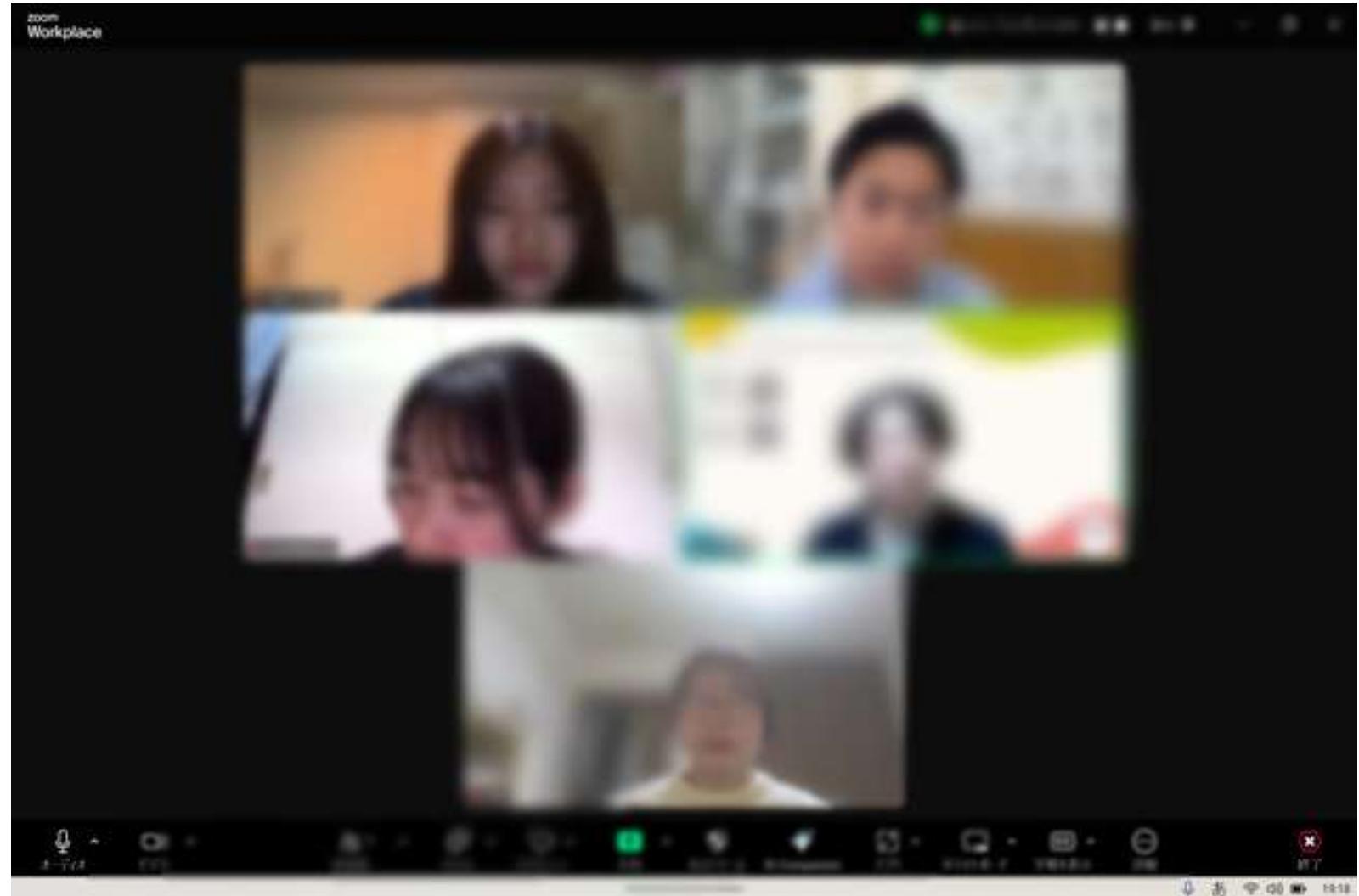
現職教員や教員を志望する仲間との
ケーススタディ

(参加者/運営)



01

現職教員の経験をもとにした
対応方法等のインプット
(参加者/現職教員/運営)



02

現職教員や教員を志望する仲間との
ケーススタディ
(参加者/運営)



教員志望の大学生の不安・悩みを軽減する施策

01

現職教員の経験をもとにした
対応方法等のインプット

(参加者/現職教員/運営)



02

現職教員や教員を志望する仲間との
ケーススタディ

(参加者/運営)



現職教員からのインプット①

仲間とのケーススタディ①

現職教員からのインプット②

仲間とのケーススタディ②

現職教員からのインプット③

仲間とのケーススタディ③

3ヶ月

01

現職教員の経験をもとにした
対応方法等のインプット

(参加者/現職教員/運営)



02

現職教員や教員を志望する仲間との
ケーススタディ

(参加者/運営)



1【学級経営】について先生から学ぼう！

・1/28(大学生5人)@オンライン

2【学級経営】の模擬実践をやってみよう！

・2/5(大学生5人)@仙台市市民活動サポートセンター

3【保護者対応】について先生から学ぼう！

・3/6(大学生4人)@オンライン

4【保護者対応】の模擬実践をやってみよう！

・3/15(大学生4人)@仙台市市民活動サポートセンター

5【不登校/いじめ対応】について先生から学ぼう！

・3/6(大学生4人)@オンライン

6【不登校/いじめ対応】の模擬実践をやってみよう！

・3/15(大学生4人)@仙台市市民活動サポートセンター

Schedule&Expenses

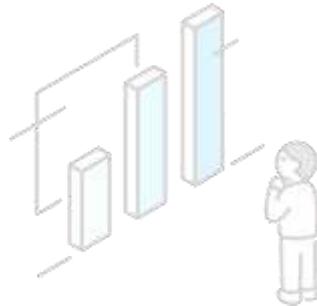
スケジュールと事業費

4月	施策の検討
5月	施策の検討
6月	施策の検討
7月	施策の検討、専門家へのヒアリング
8月	施策の検討、専門家へのヒアリング、施策実施の準備
9月	専門家へのヒアリング、第一期参加学生の募集、参加学生アンケート実施
10月	不安・悩み軽減のための施策実施、参加学生へのヒアリング、施策実施の準備
11月	不安・悩み軽減のための施策実施、参加学生へのヒアリング、第二期参加学生の募集
12月	不安・悩み軽減のための施策実施、参加学生へのヒアリング
1月	不安・悩み軽減のための施策実施、参加学生へのヒアリング
2月	不安・悩み軽減のための施策実施、参加学生へのヒアリング
3月	アンケートの分析、本事業の報告書の作成、本事業の報告会の実施

人件費	397,500	円
報償費	0	円
旅費（ガソリン代、駐車場代等）	47,760	円
消耗品費	1,537	円
印刷製本費（報告書のデザイン依頼費等）	40,000	円
通信運搬費	0	円
使用料及び賃借料（会場費等）	19,710	円
その他の経費（Instagramの広告費等）	39,079	円
計	545,586	円

Contents

事業内容



施策の検討

- ・大学生へのヒアリング
- ・現職教員へのヒアリング
- ・専門家へのヒアリング 等



施策の実施

- ・現職教員との交流会
- ・不安や悩み等の
解決につながるイベント
- ・探究伴走プログラム 等



施策の評価

- ・参加者へのアンケート
- ・アンケートの分析 等

教員になりたい気持ち



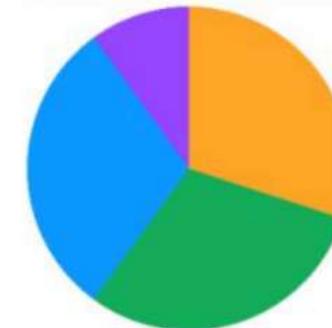
- かなり強まった (30%)
- 少し強まった (40%)
- 変わらない (30%)

不安な気持ちの変化



- 少し強まった (25%)
- 変わらない (60%)
- 少し弱く (15%)

悩みの変化



- 少し増えた (30%)
- 変わらない (30%)
- 少し減った (30%)
- かなり減った (10%)

- 早く子供たちと出会い、子供たちを前にして動きたい
- 元々教員になりたい気持ちが強いため、変わらない。
- 授業づくりの大変さを実感し、自分の未熟さを知ったが、今抱えている悩みは伸び代だと思っている。

- 見通しがついた安心感と、自分に対応できるのかという不安
- 現場を想定した実戦で良い意味で新しい悩みや疑問が生まれた。
- 現職の教員の気持ちを聞いたり、他の教員志望の学生と話すことでみんな不安に感じていることが分かり、勇気づけられた。

- ① 「教員志望の意向」と教員を志望する上での、“不安”や“悩み”は比例しないことがある。
- ② 実践の機会の数の増加と「教員志望の意向」の高まりは比例する可能性が高い。

Goal

目標

- 教員志望の大学生約5～10名に
継続的(3か月)な施策を複数(2～3個)の施策を実施する。
- 施策を実施することを通して、
実施前よりも、教員を目指すうえでの悩み・不安が減少する、
もしくは、教員を目指す気持ちが向上する。(アンケートでの測定)

Goal

目標

- 教員志望の大学生約5～10名に
継続的(3か月)な施策を複数(2～3個)の施策を実施する。
- 施策を実施することを通して、
実施前よりも、教員を目指すうえでの悩み・不安が減少する、
もしくは、教員を目指す気持ちが向上する。(アンケートでの測定)

Goal

目標

■教員志望の大学生約5～10名に
継続的(3か月)な施策を複数(2～3個)の施策を実施する。
→2つの施策に計7名の大学生が参加

■施策を実施することを通して、
実施前よりも、教員を目指すうえでの悩み・不安が減少する、
もしくは、教員を目指す気持ちが向上する。(アンケートでの測定)

Goal

目標

- 教員志望の大学生約5～10名に
継続的(3か月)な施策を複数(2～3個)の施策を実施する。
- 施策を実施することを通して、
実施前よりも、教員を目指すうえでの悩み・不安が減少する、
もしくは、教員を目指す気持ちが向上する。(アンケートでの測定)

Goal

目標

- 教員志望の大学生約5～10名に
継続的(3か月)な施策を複数(2～3個)の施策を実施する。
- 施策を実施することを通して、
実施前よりも、教員を目指すうえでの悩み・不安が減少する、
もしくは、教員を目指す気持ちが向上する。(アンケートでの測定)

Goal

目標

- 教員志望の大学生約5～10名に
継続的(3か月)な施策を複数(2～3個)の施策を実施する。
→2つの施策に計7名の大学生が参加
- 施策を実施することを通して、
実施前よりも、教員を目指すうえでの悩み・不安が減少する、
もしくは、教員を目指す気持ちが向上する。(アンケートでの測定)
→70%の参加者の教員を目指す気持ちが向上

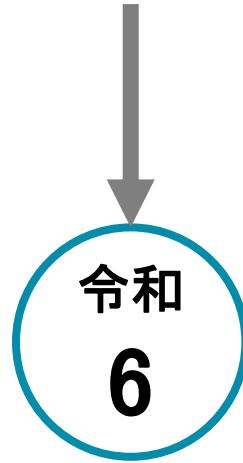
Goal

目標

- 教員志望の大学生約5～10名に
継続的(3か月)な施策を複数(2～3個)の施策を実施する。
→2つの施策に計7名の大学生が参加
- 施策を実施することを通して、
実施前よりも、教員を目指すうえでの悩み・不安が減少する、
もしくは、教員を目指す気持ちが向上する。(アンケートでの測定)
→70%の参加者の教員を目指す気持ちが向上

これからの動き

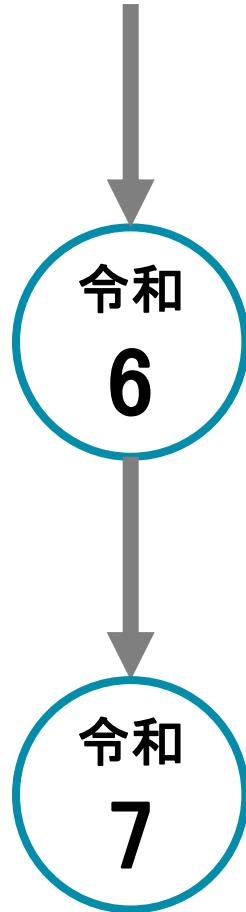
これからの動き



更なる施策の検討/実施と検証

(令和 6 年度「地域づくりパートナープロジェクト推進助成事業」)

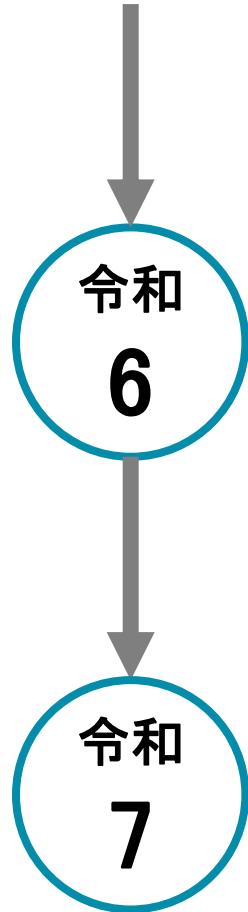
これからの動き



更なる施策の検討/実施と検証

(令和6年度「地域づくりパートナープロジェクト推進助成事業」)

これからの動き



更なる施策の検討/実施と検証

(令和6年度「地域づくりパートナープロジェクト推進助成事業」)

企業との協働プログラム/アプリケーションの作成

(社員のプロボノ参画→社内プレゼンの選考通過→社内幹部を巻き込んだプログラム/アプリ作成)